

本のひろば



2025年が始まりました。今年の干支は蛇です。蛇は、世界で言い伝えられる神話の中によく出てくる生き物の一つです。例えば、インドの神話に登場する蛇の神様は「ガーナ」と呼ばれ不死と生命力、知恵や力のシンボルとして描かれることが多いようです。日本でも、蛇は脱皮を繰り返しながら成長していく生き物、また餌をしばらく食べなくても生きながらえる生命力の強さから神の使いとして崇められてきたそうです。

今年は、年始からインフルエンザが猛威を奮っています。蛇の生命力の強さにあやかりたいですね。

図書委員からのお知らせ



毎年人気のしおりプレゼントを、今年も後期の図書委員が取り組みます。期間は、1月27日（月）～2月14日（金）です。この期間に1年生、2年生は10冊 3年生～6年生は12冊読めたらしおりをプレゼントします。今年のしおりは、図書委員のアイデアからいつもと違った新しい試みのしおりになっています。ぜひ、チャレンジしてくださいね。ただし、一人一回にかぎります。

あたらしい本のしょうかい

人気のシリーズも入りました！



（株）緑書房

このシリーズは他にもあります。



いわさきよてん 岩崎書店



作/柴田ケイコ

ポプラ社



作/KORIRI

金の星社



おねがい

『地球たべもの大百科14 日本』を探しています。家の本棚に学校のシールが貼ってある本がないか一度見てみてください。

今月のテーマは「ボランティア」

30年前の1995年1月17日に、関西を中心に大きな被害のあった阪神大震災がありました。この年、日本全国からたくさんの人々が避難所へ物資を運んだり、炊き出しをしたりとボランティアにかけつけたそうです。今までボランティア経験のない人など一般の人が、こうした活動に携わるきっかけとなったことから「ボランティア元年」とも呼ばれているそうです。そこで、今月はボランティアに関わる本を紹介いたします。図書室では、他にも震災に関連する本なども紹介しています。



『渋谷ギャル店員 ひとりではじめたアフリカボランティア』作/葉山さやか 金の星社
洋服の販売をしていた作者が、友人の死をきっかけに世界を旅して、貧困や病気で苦しむ人達に出会った。そこから、作者のボランティア人生が始まった。作者が悩みながらもイキイキと活動されている様子が描かれています。



『いまのわたしにできること』作/リサ・パップ WAVE出版
子犬をもらったことから命について考えるようになった主人公。動物が保護されているシェルターに行き、ここを動物が安心できる場所にしたいと思った。自分にできることを探し行動する主人公の姿に心を動かされます。



『放課後ミステリークラブ5 龍のすむ池事件』作/知念実希人 ライツ社
「なんかね、すごいのがいる。かいじゅうみたいなやつ！」冬休み直前の朝。学校の池に、大きく口をあけた龍がいたという噂が。そこで、いつもの4年1組のミステリートリオが動き出した。人気のシリーズ第5弾。



